

第1章 計画準備

1-1 上位関連計画の整理

本公園の再生計画の策定にあたり、上位関連計画として、以下に示す各計画について、本計画地に関連する内容、及び次章で述べる本公園の再生整備コンセプトに関連する内容を抜粋し整理を行った。

- ・第5次日進市総合計画（平成23年3月）
- ・日進市都市マスターplan（平成23年3月）
- ・日進市緑の基本計画（平成23年3月）
- ・日進市教育振興基本計画（平成29年3月）
- ・日進市生涯学習4Wプラン（平成24年3月）
- ・日進市スポーツ振興基本計画（平成22年3月）

1-1-1 第5次日進市総合計画（平成23年3月）

第5次日進市総合計画では、スポーツ活動の拠点施設である本計画地を、施設の利用状況・ニーズ等を踏まえ、施設や備品の修繕、取り換えの必要性を検討しつつ、計画的な改修を実施するという内容が書かれている。

（3）スポーツ環境の整備

①スポーツ施設の充実

スポーツ活動の拠点となる施設として、総合運動公園、スポーツセンター、上納池スポーツ公園等を、施設の利用状況・ニーズを踏まえ、施設や備品の修繕、取り換える必要性を検討しつつ、計画的な改修等を行います。

②スポーツ施設の有効活用の促進

施設利用状況等に関する総合的な情報システムの整備等、利用者サービスの向上に努めるとともに、施設の活用を進めます。

【主要事業】

事業名	事業主体 又は担当課	事業概要
スポーツ施設管理運営事業	生涯学習課	定期的に施設の管理及び事業の運営状況の確認を行い、必要に応じた施設及び備品の補修を行う。
学校体育施設スポーツ開放事業	生涯学習課	学校体育施設を地域住民等のスポーツ活動利用のため開放する。

◆ 関連する計画・条例

■日進市スポーツ振興基本計画（平成22年度～平成31年度）

◆ 用語の解説

※1 ニュースポーツ：グラウンド・ゴルフ、インディアカ等、近年、我が国で行われるようになった比較的新しいスポーツ種目の総称で、1)力の限界に挑戦するのではなく、ふれあいと楽しみを追及する 2)体力、技術、性別、年齢に左右されず、だれとでもできる 3)ルールに弾力性があり、対象、環境、時間による変更が可能である等の特徴を持っている。市町村で開発したもの、海外から紹介されたもの等を含めると100種を超えるニュースポーツがあるとされている。

※2 総合型地域スポーツクラブ：人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、1)子どもから高齢者まで（多世代）、2)様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、3)初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいう。

■出典：平成27年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

また、以下のような将来都市像、基本構想、基本計画のもとで、掲げられている具体的な施策を次頁以降に示す。

将来都市像

「いつまでも暮らしやすい みどりの住環境都市」

本市は、名古屋市と豊田市の間に位置する恵まれた地理的条件から高度経済成長期以降、緑豊かな新しい住宅都市として発展してきました。

今日の活力やにぎわいを持続的に発展させていくためには、本市に住みたい、住んでよかった、いつまでも住み続けたいと思えるような**の豊かさと幸せ、安心が実感できるまちづくり**を進めていく必要があります。

そのためには、**豊かな自然と調和した魅力あふれる住環境都市**をめざすとともに、これまで以上に市民参加を進め、市民・NPO・大学・企業・行政等が連携することにより、様々な課題への対応が可能となるよう**市民自治力と行政経営力を向上**させていくことが重要です。

計画の構成

基本構想

将来都市像

「いつまでも暮らしやすい

みどりの住環境都市」

基本計画

重点プロジェクト

- 1 充実した子育て環境づくりプロジェクト
- 2 健康長寿社会形成プロジェクト
- 3 安全・安心な暮らしづくりプロジェクト
- 4 にぎわいのある中心街形成プロジェクト
- 5 住宅地の魅力向上プロジェクト

部門別計画

1 子育て・健康長寿を支えるまちづくり

2 安全・安心で自然と共生した暮らしの実現

3 案内案内利便性の高い持続可能な都市づくり

4 生活を支える産業の振興

5 次代を担う人を育み、生涯学び続けられる環境づくり

6 市民自治力と行政経営力の向上

計画の推進に向けて

③

重点プロジェクト

プロジェクト1

充実した子育て環境づくりプロジェクト

- 地域、ボランティアやNPO、大学等と行政が連携し、子育て家庭に対する相談体制の強化や地域ぐるみのサポート等を行うことによって、安心して子育てできる環境づくりを進めます。
- また、教育環境の向上や教育体制の強化、学校給食等による食育の推進、子どもの居場所づくりを始め自主的活動の支援等を図ることで、子どもの豊かな心と健やかな身体を育みます。
- 障害者支援拠点の整備により、障害を持つ子どもに対しての総合的な支援体制を構築します。また、虐待やいじめの防止等、支援を要する子どもへの迅速な対応を推進します。
- さらに、保育園や学校施設、通学路や交通安全施設の整備、安全な公園や広場、身近に自然体験ができる緑地や水辺等の整備により、子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます。また、通学時の交通安全対策や、地域での防犯活動を支援することで、子どもの安全性の確保を図ります。
- 以上のような取組を進めることによって、安心して子育てができる、充実した子育て環境を備えたまちづくりをめざします。

安心して子育てができるまちの実現

子育て情報・子育て支援サービス提供

子育て情報の提供

- 相談支援体制の充実
- 地域の知的資源の有効活用

子育て支援サービスの提供

- 地域子育て力の充実
- 子育てと社会参加の両立ができる環境づくり
- 子ども医療費の支給

学びと育ちの支援

- 要支援児童等に対する総合的な支援
- 障害者支援拠点の整備
- 児童虐待の発生予防の推進
- 障害のある児童等への支援

教育体制・居場所づくり

- 豊かな心と健やかな身体の育成
- 食育の推進
- 自主的活動への支援

子どもが健やかに育つ環境整備

就学・保育環境

- 安全で快適な学校施設の整備
- 保育施設の充実

地域環境

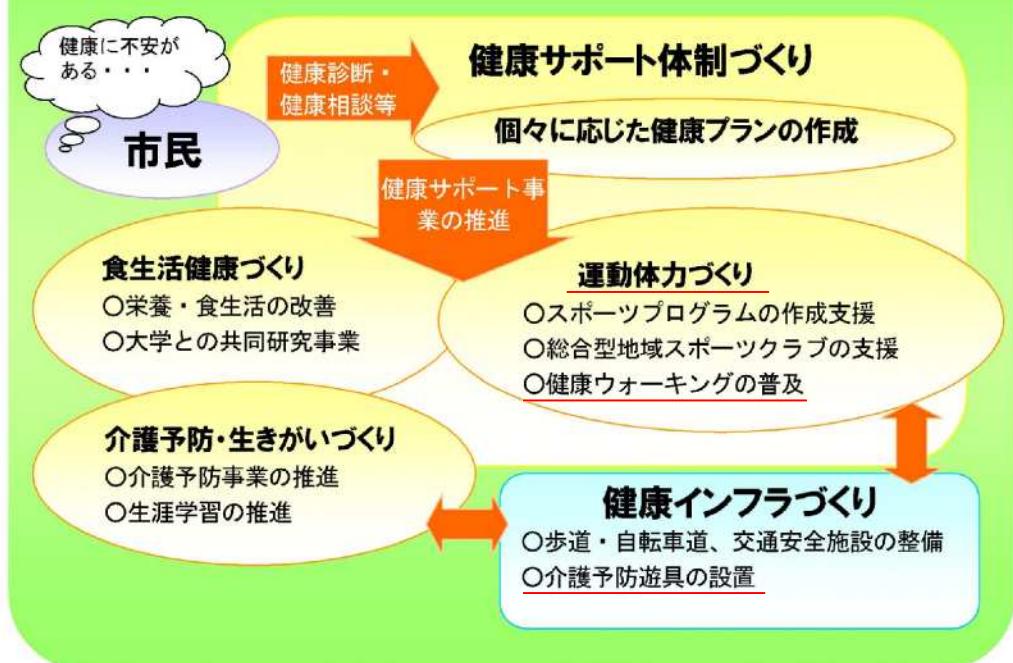
- 安全に通行できる道路や交通安全施設の整備
- 通学時の交通安全対策
- 交通安全ルールの普及・啓発
- 安心して外遊びのできる公園・緑地等の整備
- 子どもの安全の確保
- 地域防犯活動の支援

プロジェクト2

健康長寿社会形成プロジェクト

- 行政や医療機関、健康・福祉に関わる民間事業者、大学等が相互に連携し、生活習慣病の予防や介護予防等、健康増進の側面から、市民一人ひとりの健康づくりを社会的に支援する体制の構築を進めます。
- ウォーキングや自転車利用等、健康づくりに役立つ取組を進めるために、歩道や自転車道、交通安全施設等のインフラを整備し、市内における健康づくりの取組を進めます。また、公園には介護予防遊具等を設置し、高齢者の介護予防を推進します。
- 以上のような体制づくりと取組によって、健康寿命の延伸を図り、元気な高齢者の多い健康長寿社会の形成をめざします。

『元気な100歳100人』の健康長寿社会の形成



部門別計画

1 子育て・健康長寿を支えるまちづくり

幸せが実感できる豊かな暮らしを実現していくには、基本的人権の尊重はもとより、生涯にわたって健康な心と身体を保ち増進することが必要であり、いつまでも住み慣れた地域で安心して過ごせるような社会を育んでいくことが大切です。

そのため、出産前後の親子に対する子育て、子育ちへの支援等を通じて、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを進めます。また、高齢者や障害のある人への福祉サービスの充実や社会参加する機会の拡大、市民の健康づくり等を推進します。

だれもが生きがいを持って健康で自立した生活を送ることができ、自分らしい生き方ができる社会の実現や、地域福祉の拡充、支援を進めることで、多世代にわたる市民が互いに支え合う温もりのある社会を実現します。

そして、介護保険等の公的保険の適正な運用、福祉医療等を充実させることで、だれもが安心して必要な社会福祉サービスが受けられる「子育て・健康長寿を支えるまちづくり」をめざします。

1 社会福祉（子育て・子育ち支援、高齢者福祉・介護保険、障害者・障害児福祉、地域福祉）

- ・子どもを安心して産み、育てることができる環境づくり
- ・高齢者や障害のある人への福祉サービスの充実や社会参加する機会の拡大
- ・多世代にわたる市民が互いに支え合う温もりのある社会の実現

2 健康（成人保健、母子保健、地域医療、感染症対策）

- ・市民の健康づくり等の推進

3 社会保障（公的医療保険・年金、福祉医療、低所得者支援）

- ・国民健康保険等の公的保険の適正な運用、福祉医療等の充実



2 安全・安心で自然と共生した暮らしの実現

市民が安全・安心に暮らすためには、災害に強く、犯罪、交通事故のないまちづくりを進めることが大切です。

また、本市に残る自然環境は、うるおいとやすらぎに満ちた市民生活を支えるかけがえのない財産であり、将来にわたって引き継いでいく必要があります。

そのため、防災、防犯、交通安全対策において関係機関と連携した組織的な取組や、地域における自主的な活動の強化、支援や啓発活動の充実を図ることによって、災害に強く、犯罪や交通事故のない安全で安心なまちの実現に努めます。

また、緑地や水辺の保全・活用等によって、自然環境と共生したまちの実現に努めます。

そして、環境負荷の少ない地域社会の形成に向けた取組を実践し、だれもが快適に暮らすことができる「安全・安心で、自然と共生した暮らしの実現」をめざします。

1 安全・安心（防災・危機管理、消防・救急、交通安全、防犯、消費者行政）

- ・防災、防犯、交通安全対策において啓発活動の充実
- ・地域における自主的な活動の強化や、関係機関と連携した組織的な取組への支援

2 環境（環境負荷の少ない地域社会の形成、ごみの適正処理と再資源化の推進、自然環境の保全）

- ・緑地や水辺の保全・活用等を進め、自然環境と共生したまちの実現
- ・環境負荷の少ない地域社会の形成に向けた取組の実践



5 次代を担う人を育み、生涯学び続けられる環境づくり

次代を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長し、豊かな人間性と確かな学力を身につけるためには、義務教育や家庭教育の充実が必要です。

すべての市民が一人ひとりの能力と個性を伸ばし、その人生をライフスタイルに応じた充実したものとするためには、子どもたちから高齢者まで市民のだれもが学習の機会を得られ、スポーツや芸術・文化を身近に親しむことができるよう、生涯学習、芸術・文化の振興、生涯スポーツの推進等が必要です。

これらの学びの成果を生かして、心豊かな地域社会を形成していくためには、長期的視野に立った環境づくりを進めるとともに、伝統文化を守ることで、市の歴史を育み、将来世代に伝承することが大切です。

このような教育、生涯学習のまちづくりを通じて、市民一人ひとりが充実感や地域社会における存在感を得ることができ将来に対して夢を持てるような「次代を担う人を育み、生涯学び続けられる環境づくり」をめざします。

1 学校教育（義務教育、学校給食）

- ・それぞれの地域の特色を生かした、義務教育や家庭教育の充実

2 生涯学習（生涯学習の推進、図書館、芸術・文化の振興、文化財の保護・活用、家庭教育、生涯スポーツの推進）

- ・市民のだれもが学習の機会を得られ、スポーツや芸術・文化を身近に親しむことができる環境づくり
- ・伝統文化の保存と将来世代への継承



1-1-2 日進市都市マスター プラン（平成 23 年 3 月）

日進市総合運動公園は、都市マスター プランではレクリエーション拠点に位置づけられており、現在の機能維持及び利用増進を図る方針となっている。

[レクリエーション拠点]

愛知県口論義運動公園、総合運動公園、上納池スポーツ公園及びスポーツセンターをレクリエーション拠点として位置づけ、現在の機能維持及び利用増進を図る。



公園・緑地に関する方針においても同様な方針が立てられている。

3. 公園・緑地に関する方針

(1) 公園・緑地等

レクリエーション拠点として位置づける愛知県口論義運動公園、総合運動公園、上納池スポーツ公園及びスポーツセンターについては、現在の機能維持及び利用増進を図るとともに、低層住宅地区をはじめとする市街地内においては、既存の都市計画公園・緑地や児童遊園・多目的広場等の整備状況を踏まえつつ、身近に利用できる公園緑地等の確保を図る。

〈具体的な整備方針〉

- 現在未整備となっている地区について都市計画公園等の整備を推進するとともに、緑の基本計画の検討・策定を通じ、公園・緑地の目標整備量及び配置等の方針を策定し、これに基づく整備を推進する。
- 市内に多く残る緑地を活用した市民緑地の配置を積極的に進める。
- これらの配置にあたっては、市民の意見や意向の把握と反映に努めるとともに、整備後の活用や維持管理においても積極的な住民参加を促す。

■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

また、第5次総合計画における将来都市像に基づき作成された都市づくりの理念、都市づくりの基本目標では以下のように述べられている。

第5次総合計画における将来都市像-----

いつまでも暮らしやすい みどりの住環境都市

《都市づくりの理念》

農地や緑地をはじめとする豊かな自然を守り・育みつつ、
「ベッドタウン」から多様な世代が暮らし続けることのできる
「生活環境が豊かで充実した都市」へと再構築を進める

2. 都市づくりの基本目標

農業振興・緑地保全と調和した集約的・効率的な土地利用の実現

人口減少・超高齢社会の到来、自然環境に対する負荷の軽減等の観点から、本市の緑地構造の骨格である東部丘陵に広がる緑地や天白川・岩崎川沿い農地の保全を図ることで無秩序な市街地の拡大を抑制し、居住密度が高く、多様な都市機能が集約された市街地の形成を目指す。

“にぎわい”と“ふれあい”を生み出す新たな『都市拠点』の形成

本市の“顔”となり、市民等との交流を促進することで、にぎわいとふれあいを生み出す新たな都市拠点の形成を目指す。

本市ならではの資源・既存ストックを活かした都市づくり

本市固有の教育・研究開発機能や緑地機能の維持・増進を図りつつ、これらを積極的に活用した都市づくりを目指す。

誰もが安全・安心・快適に生活し、移動できる都市環境の創出

鉄道駅周辺や住宅団地センター地区等への日常的な生活支援機能の立地を促進することにより、自動車交通に過度に依存せず、歩くことを主体に暮らせる日常生活圏の構築を目指すとともに、市内に分散する居住地や各種都市施設間の密な連絡を図るために、サービス水準の高い道路や公共交通の確保により、移動しやすく動きやすい都市環境の創出を目指す。

互いの役割と責任に基づいた市民・行政による協働の都市づくり

地域住民が主体となった快適な居住環境づくりや市民参加による緑地保全、「アダプト・プログラム」制度※の導入などにより、市民等と行政が手を取り合ってまちづくりを実践していくことができる都市づくりを目指す。

※住民団体、企業等が道路や公共空間で、植栽や清掃等を行うボランティア制度のこと。アダプトとは「養子」の意味

なお、日進市総合運動公園は、相野山地域に属する。地域別構想では、相野山地域は以下のような構想が掲げられている。

相野山地域

1. データ等からみた地域の現状

- 全域が市街化調整区域となっており、人口集積が低く、高齢者人口割合は最も高い。
- 今後の人口の伸び率は、停滞・減少傾向にある。H32年における高齢者人口割合は最も高くなる状況が予想されており、地域内にある五色園では当初に開発された地区において、既に人口が減少する状況が見受けられる。
- 愛知高速交通東部丘陵線（リニモ）長久手古戦場駅及び芸大通駅に近接し施設立地等の優位性の高い地域であるが、丘陵地の緑地や農地が多く残る状況にある。なお、農地周辺に介在する農業集落地等では狭あい道路が多く見受けられる。

〔参考〕

地域の面積、人口

	市街化区域	地域全体
面積	約 0ha	約 413ha
人口（H22年）	—	5,253人
人口密度	—	12.7人/ha

※面積：H18年度都市計画基礎調査結果

※人口（H22年）：教育総務課

人口動向（将来人口等推計）

	H22	H27(推計)	H32(推計)
人口（人）	5,253	5,123	4,921
伸び率（H22=100）	—	97.5	93.7
高齢者人口割合（%）	25.3	31.4	34.2

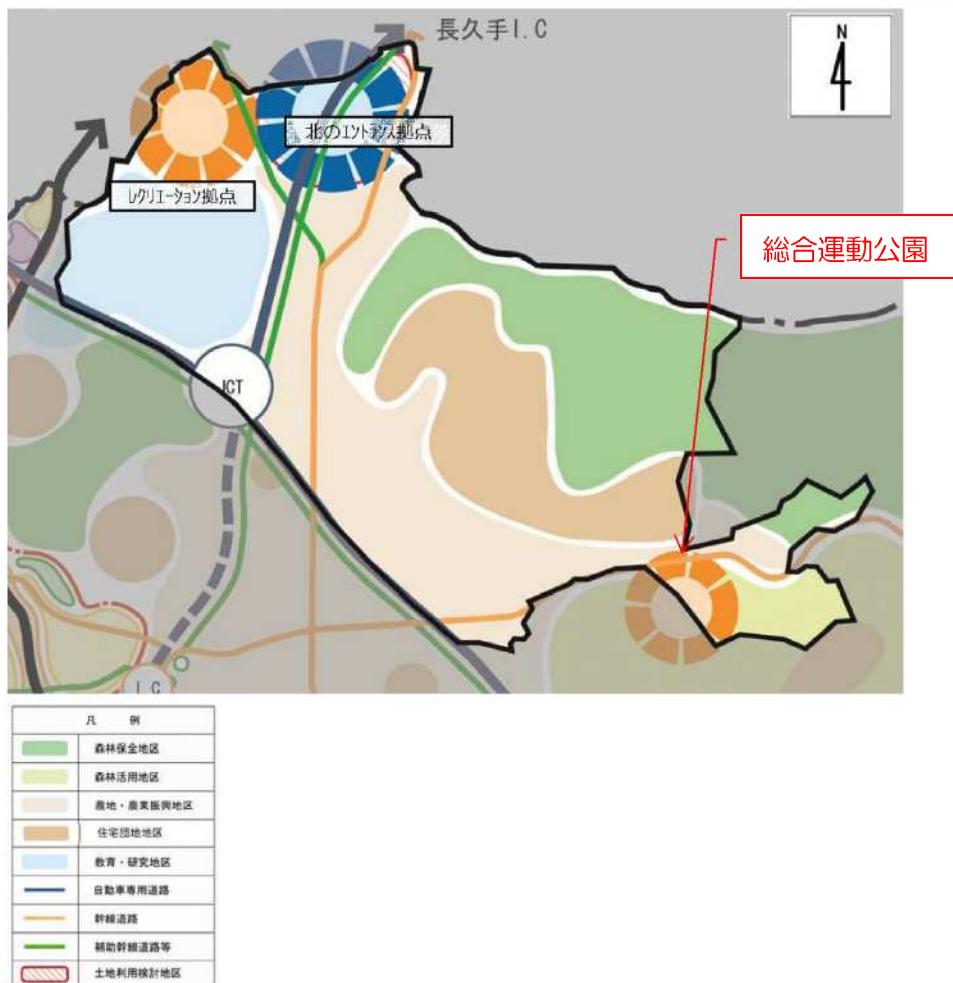
※資料：教育総務課

※当該推計結果は、各地域における今後の人口動向等の概ねの傾向を把握するためのものであり、各地域のH32推計人口の合計は、本マスタープラン全体構想における将来人口フレームとは一致しない（調査時点（基礎データ等）が異なるため）。

※市全体の高齢者人口割合（H22年）：16.9%

4. 地域のまちづくり方針

(1) 全体構想上の位置づけ



① 拠点形成及び土地利用の方針

[北のエントランス拠点]

愛知高速交通東部丘陵線（リニモ）長久手古戦場駅周辺の市街地整備に伴い施設立地の優位性の高まりが予想される北新地区等においては、現況の自然地形や植生等を継承しつつ、日常的な生活利便施設をはじめ多様な都市機能が立地する拠点地区の形成を図る。

[レクリエーション拠点]

愛知県口論義運動公園、総合運動公園をレクリエーション拠点として位置づけ、現在の機能維持及び利用増進を図る。

■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

〈現行市街地外（市街化調整区域）〉

○森林保全地区

北東部に広がる森林においては、貴重な動植物が多く生息するなど本市の骨格となる緑豊かな自然環境が残されている。また、これら森林は本市ならではの重要な景観資源であるとともに広域的にみれば名古屋東部丘陵の一角を構成する緑地であることからも、積極的にその維持・保全を図る。

○農地・農業振興地区

農業振興や自然災害の対策上重要な役割を担う農地については、無秩序な開発の抑制に努める。

農地等の中に点在する農業集落においては、周辺の農地等の保全を図る上からも重要な役割を担うことから、地域コミュニティを守り、育むことで、集落地としての土地利用を維持する。

○住宅団地地区

市街化調整区域における住宅地として開発がなされてきた地区においては、現在の居住者が今後も安心して快適に暮らし続けることができる居住環境を維持していくために、低層住宅を主体とした土地利用の維持・保全を図る。

○教育・研究地区

既に立地する大学周辺等においては、今後とも現在の土地利用を維持する。

② 基盤施設（主に地域レベルの生活インフラ）の整備方針

○生活道路

幅員4m未満の狭い道路の拡幅整備にあたっては、地域との連携を図りながら、推進するとともに、不要な通過交通等の進入を抑制するような交通誘導施策の実施等により、安全性に配慮した道路環境を創出する。

○公園・緑地等

住宅団地地区内においては、身近に利用できる公園緑地の確保を図るとともに、身近な緑地空間の保全活用や敷地内緑化等を促進することにより、ゆとりと潤いある良好な居住環境を創出する。

1-1-3 日進市緑の基本計画（平成 23 年 3 月）

緑の基本計画では、日進市総合運動公園は市民や来訪者のレクリエーションニーズに対応できるように、既存施設の維持、質の向上を図る方針となっている。

2. 緑地配置及び緑化計画

水と緑の将来像を実現するために、前述した 4 つの機能を基にし、水と緑の軸及び拠点となる緑地を配置する場所を以下のように設定する。

3つのエリア

水と緑の軸

緑の拠点と森づくり

■自然景勝エリア

本市の代表的な自然環境である東部の丘陵地や御嶽山等、主に市域東部、北部に形成された緑地エリアであり、豊富な緑地量と良好な自然生態を保全し、後世に残していくエリア。

■里山・田園エリア

水と緑と人が深く係わりながら残されてきた伝統的・文化的意義を持つ田園地域。天白川、岩崎川等の水環境に恵まれ、多様な自然環境の姿や里山の姿を後世に継承するために、残された緑を守り、修復していくエリア。

■市街地緑化推進エリア

生活の豊かさと快適さを向上させる緑豊かな市街地形成を図るエリア。

■水と緑の軸

人や多くの動植物が共生し、本市の自然環境の骨格を形成する空間であり、安心安全に散策する中で自然に触れ合える環境軸。

■レクリエーションの拠点

市民や来訪者へのレクリエーションニーズに応えることができる拠点。

■森の拠点

環境重視型の活用を図りつつ、人が自然とふれあうことのできる拠点。

■農の拠点

農業後継者の営農意欲の向上と新たな農業従事者の育成を図る拠点。

■水と緑の拠点

特徴ある緑や水辺、歴史・文化を有する景勝地等、地域の個性と自然の豊かさを感じができる「ふるさと」の拠点。

■まちの森

市の顔となる市街地や歴史的な町並みの中でも、身近に緑を実感できる地域。

◆ふるさと日進を代表する水と緑の空間を保全活用する

①日進市を代表する東部丘陵の中にあって岩藤新池、湿地周辺は特に優れた空間を有しており、また希少な動植物が生育していることから森の拠点として位置付け、保全を図る。（→ 計画拠点緑地）

②自然景勝エリアに位置する愛知池及びその周辺は広がりのある水面と、緑が織り成す自然景観を有しており、また希少な動植物が生育していることから水と緑の拠点として位置付け、保全活用を図る。（→ 保全に配慮する緑地）

◆身近な里山空間を活用し、創出する

①市域全域で、身近な社寺林や未利用の農地等を里山空間として活用し、里山体験、自然や人、多様な生き物との交流ができる里山空間を創出する。

（→ 里山・田園緑地）

◆市街地内に残る樹林地や空地を活用した緑地を創出する

①市街地内に残る樹林地、社寺林、ため池、空地等を活用した緑地を創出する。

（→ 計画拠点緑地）

◆緑の顔となる空間を創出する

①市の玄関口となる駅周辺（赤池・日進・米野木駅）や、市民が多く集まる場所である市役所周辺では、都市緑化を推進し、緑あふれる空間づくりを推進する。（→ 緑化重点地区）

◆市全域で緑化を推進する

①公共施設はもとより、民有地や大規模な駐車場、工場等についても緑化の推進を図るよう誘導する。（→ 緑化重点地区）

◆水と緑の軸の形成を図り、散策することが楽しいまちを創出する

①天白川、岩崎川及びこれら河川沿線の農地、田園フロンティアパーク拠点とにぎわい・心れい拠点と日進駅を結ぶ軸を、水と緑の軸と位置付け、森林や公園等の緑の拠点を活用しながら、緑道や歩行者道などを整備し、水と緑の軸を形成する。（→ 水と緑の軸）

◆森や田園等の緑の拠点の形成を図り、散策や里山活動を通じて「ふるさと」日進が体感できるようにする

①北高上緑地、岩藤新池周辺の樹林地等を緑の拠点とし、里山活動や豊かな自然の中での散策地として活用し、自然とふれあえる場を創出する。

（→ 計画拠点緑地）

◆多様な観光・スポーツ・レクリエーションの場としてのレクリエーションニーズに対応する公園緑地の整備・改善を図る

①日進市総合運動公園、歴史との心れいの場としての岩崎城址公園等、市民や来訪者の観光レクリエーションニーズに今後も対応できるよう既存施設の維持、質の向上を図る。（→ 現況拠点緑地・計画拠点緑地）

◆市街地にあって、緑豊かな緑地を活用して、身近な緑や自然に親しむことができる場を創出する

①水晶山緑地や、市街地のまとまりのある社寺林等をまちの森として、自然観察や、環境学習の場等として活用し、安心して自然とふれあえる場を創出する。（→ 現況拠点緑地・計画拠点緑地）

また、基本テーマ『水と緑を巡りながら、人ととの交流も育まれる ”水と緑が織り成すふるさと日進』のもとで以下のような基本方針、基本施策が掲げられている。

第3章 緑の将来像

1. 基本テーマ

日進市は、東部丘陵や御嶽山等のまとまった緑、点在する丘陵地の緑、天白川や岩崎川等の源流域としての水資源と川沿いに広がる田園と集落、大規模な面整備による住宅地やこれに隣接する里山的な田園風景等、多様な緑の空間が織り成す構造が大きな特徴である。

しかし、近年、田園地域での農地の転用や休耕、樹林地での山林の荒廃等、「人と自然」の関係の途絶えが現れつつあるため、日進市の緑の将来は必ずしも安泰とはいえない。

本計画では、比較的身近なところに水や緑が存在しているという日進市の特徴を踏まえ、市民が身近に水や緑に一層の親しみを持ち、日常的な自然との触れ合いの中から「人と自然」との良好な関係を構築することが、日進市の緑を守り、育むことに繋がると考えたい。

したがって、本計画の基本テーマとして、市民が身近に水と緑を巡り、人と自然、人と人が交流できるような『日進』という水と緑の織り成すふるさとづくりを目指すこととした。

水と緑を巡りながら、人ととの交流も育まれる
“水と緑が織り成すふるさと日進”

2. 基本方針

基本テーマの実現に向けて、「樹林地」、「水辺環境」、「田園」、「歴史」、「市街地」、「市民参加」の6つの視点から基本方針を設定する。

① 緑豊かな樹林地と希少な樹林地の保全と育成

＜基本方針＞

丘陵地等の樹林地は、市民とのふれあい、係わり、つながりを深められるような「里山」として位置付け、関係諸団体と連携しながら適切な維持・管理に努め、育成する。

社寺等の樹林地については、地域の貴重な自然・景観資源として、地域が主体となった維持・管理や活用を支援していく。

希少な樹林地については、できる限り現状を維持し、今後は開発等で滅失しないように、貴重な緑地および景観資源として保全を図る。また、レクリエーションや環境教育の場として活用する。

- 東部丘陵や御嶽山のまとまりのある樹林地の保全及び育成。
- 社寺林や市街地内の樹林地の保全活用。
- 樹林地を環境学習やボランティア活動の場として保全活用。



日進市総合運動公園内からみたまとまりのある樹林

④ 歴史を継承する緑の保全と活用

<基本方針>

岩崎城址公園及び御嶽山周辺については、貴重な自然環境を適切に保全し、また、近接して存する社寺等とネットワーク化することにより、歴史と緑の共存する区域として安心して散策できる緑豊かなレクリエーション地区の形成を図る。また、市内に点在する歴史的資源についても、緑のネットワークの構成要素として活用を図る。

- 岩崎城址公園の樹林地の維持・保全。
- 御嶽山周辺の豊かな自然環境の維持・保全。
- まとまった趣きのある集落は、周辺に点在する史跡等と結びつけ、散策ルートの充実。
- 歴史・文化の資源に隣接する樹林の保全活用。
- 社寺林の保全。
- 地域のシンボルである名木・古木の保全。



岩崎城址公園

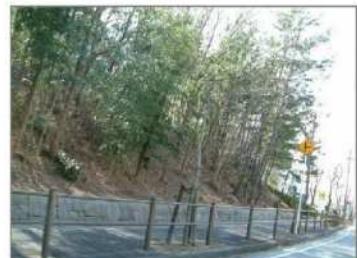
⑤ 憩いと快適、安全・安心な心地良い市街地の緑の形成

<基本方針>

市街地に残る竹林等を活用した緑地整備を推進するとともに、地域のニーズにあわせた公園の再整備を推進する。

また、日進市における主要な幹線道路を中心に緑化を推進するとともに、公共施設や住宅地の緑化を促進し、緑の多い市街地の形成を目指す。

- 安全で安心な市街地を形成する緑の拠点として、市街地における「まちの森」づくりを推進。
- 水辺、緑地、公共施設等を有機的につなぐ散策路ネットワークの整備と、ネットワーク沿いに、小広場（休憩スペース）・小公園を配置。
- 既存の老朽化した公園を、地域の人たちと協働による公園づくりを行い、利用を促進。
- 市街地内の農地や樹林地を活用して自然とふれあえる緑地・公園の整備を推進。
- 公共施設における緑化の推進。
- 市民や事業者と協力し、民有地の緑を増量。
- 市街地の斜面緑地や小規模な樹林地の保全。
- 街路樹等を市民と協働で適正管理。
- 新規開発される一団の住宅地等については緑地の保全及び創出。



斜面樹林



公共施設への外構緑化

(3) 緑の景観の保全

① 自然景観の保全

- 東部の丘陵地や御嶽山等のまとまりのある樹林地は豊かな自然景観を有しており、将来にわたり引き継ぐべき景観として保全を図る。



東部丘陵

② 里山景観の保全

- 本市の河川沿いのまとまりのある農地及び集落、樹林地が形成する里山景観の保全を図る。
- 良好的な里山景観の保全を図るために、建物の高さや色等自主的なルールの策定を促し、それらの支援の検討を行う。



東部丘陵の里山



梨の木小学校親子里山教室

③ 田園景観の保全

- 農業用ため池等は動植物の生息地、景勝地として保全するとともに、市民の憩いの場として活用する。
- まとまりのある田園景観を阻害する休耕田については、コスモス等の景観作物等の栽培により景観保全を図る。



まとまりのある田園景観

【 緑を増やす 】

(1) 都市公園等の整備

① 都市公園の整備

- 街区公園、近隣公園、地区公園といった住区基幹公園のうち、充足度の低い地区を優先しながら整備を進める。また、土地区画整理事業等の面的な都市基盤整備においても都公園の整備を進める。
- 身近な公園を整備する際は、既設の公園の再整備も含めて、計画段階から地域住民との協働により、地域のニーズに合った公園整備を進める。
- 新設する公園は緑豊かな公園となるように努める。また、既設公園の改修時には花や実、野原等、利用者にとって魅力的で、心癒される公園整備となるように努める。
- プレーリーライダーの養成を図り、公園内で木工や伝承遊び等を伝え、魅力ある公園の場づくりを進める。



機織池緑地整備に向けての
ワークショップ



機織池緑地での活動風景

② 公共施設緑地の整備

- 都市公園を除く公共施設緑地である歩行者専用道路や、市民農園、河川緑地等の整備を検討する。
- 公共公益施設である学校の植栽地や道路環境施設帶の植樹帯等への緑化を検討する。

③ 民間施設緑地の整備

- 市民緑地や公開空地等の民間施設緑地の整備を積極的に促す。
- まとまりのある社寺林については、都市緑地法による法制度を活用して、法的な担保が得られるように努める。

(2) 公共用地の緑化

① 公共公益施設内の緑化率の向上

- 公共公益施設における緑化を積極的に推進し、他の規範となるよう緑化率の向上を図る。
- 駐車場緑化や、壁面緑化、屋上緑化等新しい緑化技術を取り入れ、対費用効果や省エネルギー効果等を市民や事業者に紹介するよう努める。



壁面緑化

【 緑を支える 】

(1) 市民による緑化活動の支援

① 緑に関する助成制度の充実

- 市民や事業者による緑を守り育てるボランティア活動の助成制度を検討する。

② 緑に関する情報提供

- 緑に関する普及啓発活動を推進する。
- 環境学習・地域学習の普及・拡大により身近な自然環境・地域資源等への市民の関心を高める。
- オープンガーデンや花いっぱい運動等の現在行われている活動の継続と拡大を図るために、各活動の紹介やより参加しやすい仕組みの検討を行う。

③ 緑に関する団体等の情報提供

- 市内外の緑に関する団体等の情報提供を進める。
- HP等を通じ、情報交換等の場の提供を検討する。

(2) 市民参加の促進

① 公園ワークショップの開催

- 整備する公園については、できる限り地域の人たちと協働による公園づくりを行い、特色ある身近な公園としての利用を促す。



竹の山北公園づくりワークショップ



同左



同左

1-1-4 日進市生涯学習4W プラン（平成24年3月）

日進市生涯学習4W プランでは、以下のような基本理念、基本目標、基本的な方針、施策の展開が掲げられている。

第3次日進市生涯学習4Wプランの趣旨

日進市では、生涯学習の推進・充実のために、平成14年3月に「日進市生涯学習4Wプラン」を策定し、その後平成19年に改定を行いました。現在、改定から4年が経過し、社会経済情勢は大きく変化しています。このような中で、生涯を通じてだれもが自由に好きなテーマについて学ぶことができる生涯学習環境の整備を図るとともに、自らの意志で学習し、その成果を社会に寄与することで、自己実現を図ることができる生涯学習社会の実現に向かって、「第3次日進市生涯学習4Wプラン」の策定を行います。

位置づけ

第3次日進市生涯学習4Wプランは、生涯学習の推進及びそのための生涯学習環境の充実に向けた行政の主体的取り組みに関する基本的な方向性を明らかにし、今後の生涯学習に関する具体的な事業実施の指針となるものです。また、計画期間は平成24年度から平成28年度までの5年間とします。

基本理念

「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の4つのWを基本に学べるよう、日進市の生涯学習のあるべき姿を目指します。

基本目標・基本的な方針

基本目標	基本的な方針	施策の展開
I. いつでも、いつからでも気軽に学習する	1. ニーズに合った時間帯での学習の提供 2. 各年代のニーズに対応した学習内容の提供 3. 生涯学習意識の啓発	●各年代の利用しやすい時間帯を考慮した講座・イベントの設定 ●各種活動団体への情報提供【重点施策5】 ●市民の健康づくりに寄与する講座の充実【重点施策1】 ●子育て世代向け講座の充実 ●高齢者向け講座の充実 ●生涯学習に取り組みたいと思った時すぐ取り組めるよう、身近な場での生涯学習の実施 ●きっかけづくり講座・イベントの実施
II. どこでも学習でき、どこからでも生涯学習情報が得られる	1. 多様な生涯学習の場・機会の提供 2. 人材の有効活用	●生涯学習施設の充実【重点施策1及び2】 ●身近に芸術文化にふれる場づくり【重点施策2】 ●歴史民俗資料館等の有効活用 ●在宅学習の支援 ●人材リストの整備 ●各種活動団体との連携【重点施策5】
III. だれでも学習し、だれからでも学習成果の発信が出来る	1. 情報の収集と提供 2. 市民からの要望の把握 3. 学習の支援	●生涯学習情報誌の発行 ●情報のネットワーク化 ●市民のニーズに応じた講座の実施 ●市民意識調査の実施 ●市民による計画の評議 ●相談体制の充実 ●子育て世代への学習支援 ●障害者や高齢者への学習支援
IV. なんでも、なにからでも学習する	1. 地域資源の活用	●大学との連携【重点施策3】 ●環境学習の推進【重点施策4】 ●歴史・文化財の活用 ●民俗・伝統芸能等の継承【重点施策2】 ●地産地消による農産物の推進【重点施策1】



重点施策

4つの基本目標の実現に向け、今後5年間において、優先的に以下の5つの施策の展開を図っていきます。

重点施策1：市民の健康づくりに寄与する学習の充実・推進

（健康づくりに関するイベントやスポーツ大会の開催、健康づくりやスポーツ講座の充実、「にっしん体操」の普及促進、スポーツ施設の充実、地産地消による食育の推進等）

重点施策2：文化・芸術に関する学習の充実・推進

（現在実施している市民文化祭や伝統芸能の発表大会などの継続実施、身近に文化・芸術にふれることができる場づくり、地域の民俗・伝統芸能等の保存・継承支援、文化施設の充実等）

重点施策3：大学との連携

（大学の人材や資源を活用した専門性の高い講座の開催、市民と大学生の交流・ふれあいの場づくり等）

重点施策4：エコ体験学習（環境学習）の推進

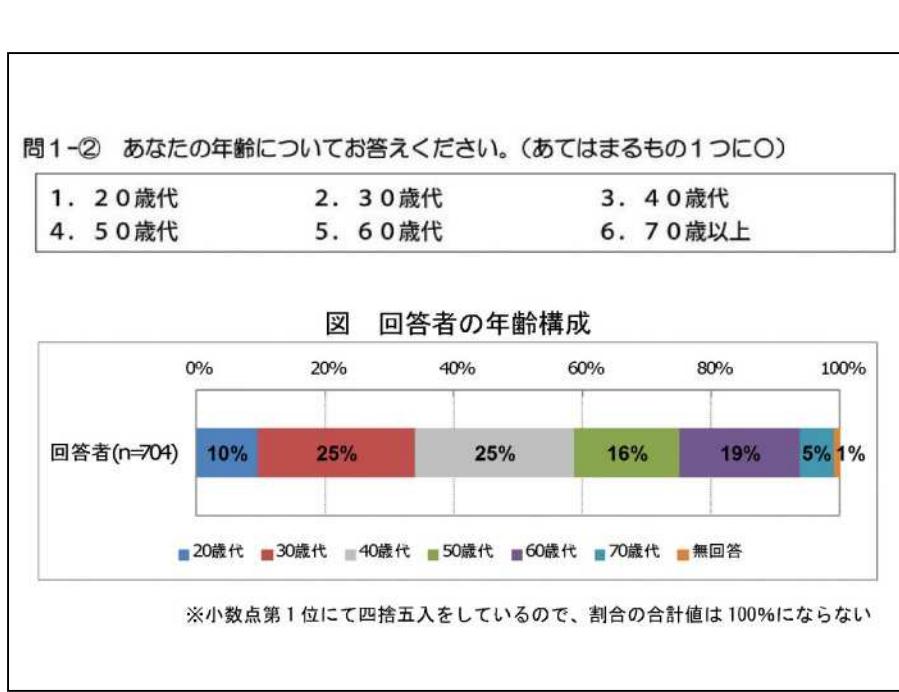
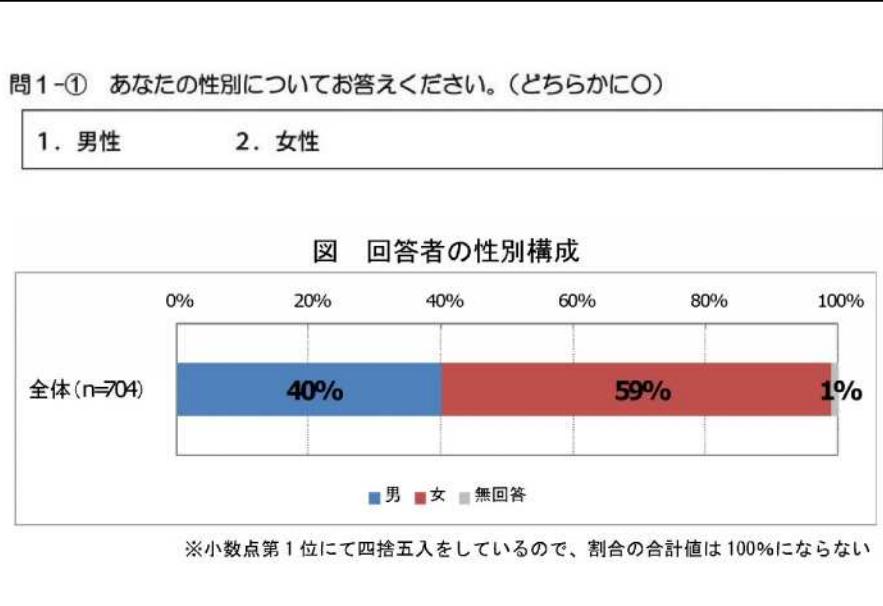
（里山づくりや天白川での自然とのふれあいなど、実際の活動体験を通じた環境学習の推進、エコドームの活用等）

重点施策5：各種活動団体への支援と連携強化

（情報提供や講座企画に対する助言・アドバイスなど各種活動団体に対する支援の充実、まちかどネットワークの周知・PRを通じた各団体同士の連携や人のつながりの強化等）

また、日進市生涯学習 4W プランでは、市民の生涯学習の取り組みやニーズを把握し、より充実した生涯学習環境づくりのために、アンケート調査を実施（平成 23 年 8 月）している。

回答者の属性は以下のとおりである。



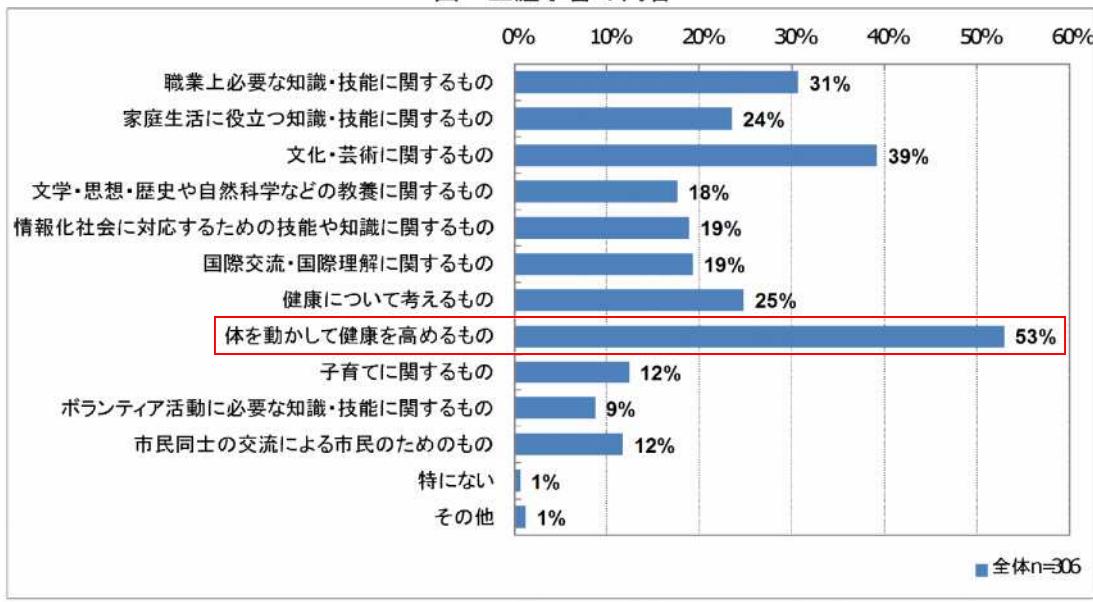
■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

総合運動公園の利用に関する質問と回答の結果を以下に示す。

問2-② あなたが、行っている生涯学習の内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 職業上必要な知識・技能に関するもの（情報処理、経理などの各種資格取得）
- 2 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、マナー講座、日曜大工など）
- 3 文化・芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、手工芸、書道など）
- 4 文学・思想・歴史や自然科学などの教養に関するもの（文芸や郷土史、環境問題など）
- 5 情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの（パソコンなど）
- 6 国際交流・国際理解に関するもの（外国語、外国の生活文化など）
- 7 健康について考えるもの（保健・栄養の知識や、心理学など）
- 8 体を動かして健康を高めるもの（水泳、テニス、剣道などのスポーツやヨガ、健康新体操など）
- 9 子育てに関するもの（育児、教育問題など）
- 10 ボランティア活動に必要な知識・技能に関するもの（手話、介護技術など）
- 11 市民同士の交流による市民のためのもの（コミュニティ活動など）
- 12 特にない
- 13 その他（具体的に：)

図 生涯学習の内容



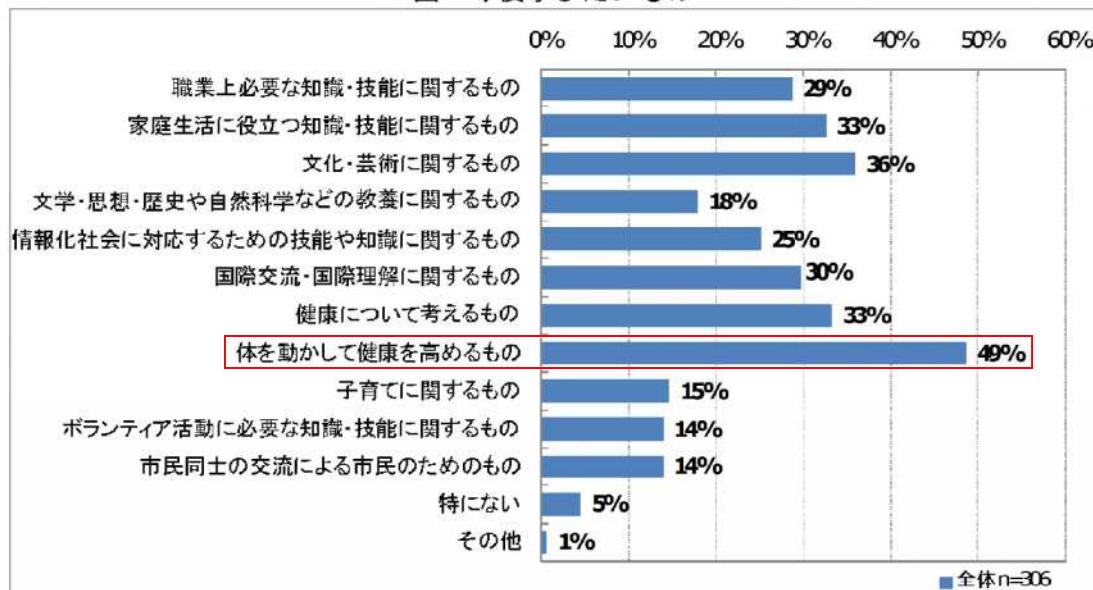
- 現在行っている生涯学習として「体を動かして健康を高めるもの」の割合が全体の中で一番高い結果となった。

■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

問2-⑨ あなたは、今後どのようなことを学びたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 職業上必要な知識・技能に関するもの（情報処理、経理などの各種資格取得）
- 2 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、マナー講座、日曜大工など）
- 3 文化・芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、手工芸、書道など）
- 4 文学・思想・歴史や自然科学などの教養に関するもの（文芸や郷土史、環境問題など）
- 5 情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの（パソコンなど）
- 6 國際交流・國際理解に関するもの（外國語、外國の生活文化など）
- 7 健康について考えるもの（保健・栄養の知識や、心理学など）
- 8 体を動かして健康を高めるもの（水泳、テニス、剣道などのスポーツやヨガ、健康新体操など）
- 9 子育てに関するもの（育児、教育問題など）
- 10 ボランティア活動に必要な知識・技能に関するもの（手話、介護技術など）
- 11 市民同士の交流による市民のためのもの（コミュニティ活動など）
- 12 特にない
- 13 その他（具体的に：)

図 今後学びたいもの



・今後どのようなことを学びたいかという問い合わせに対しても、「体を動かして健康を高めるもの」の割合が全体の中で一番高い結果となった。

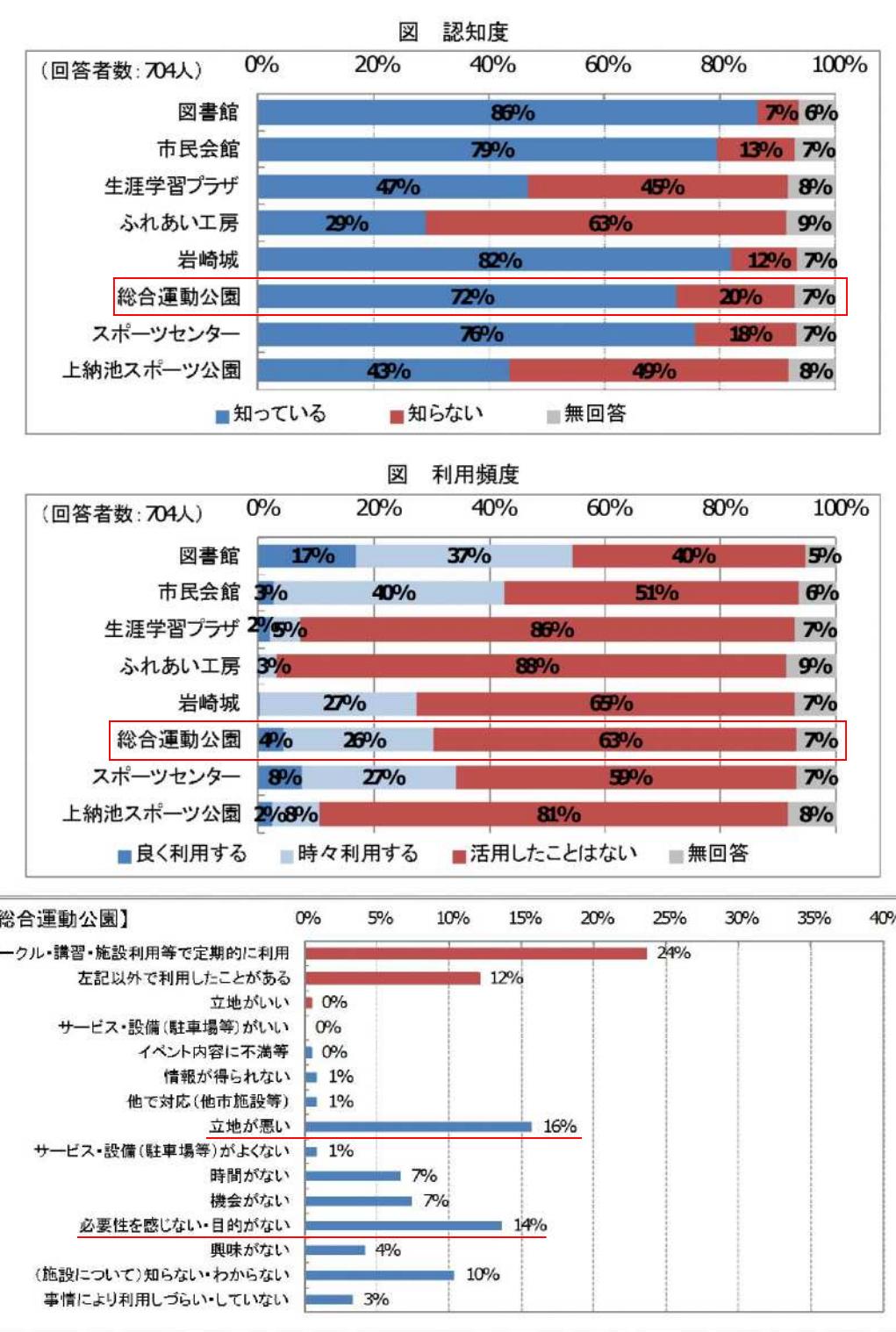
■出典：平成27年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

問3-④ 市が整備を行った生涯学習施設について、認知度及びあなたのこの1年以内の利用頻度を教えて下さい。(各項目について、認知度と利用頻度にそれぞれ1つだけ○をつけてください。)

	認知度		利用頻度		
	知っている	知らない	良く利用する	時々利用する	利用したことはない
記入例:市民会館	(2)	1	3	2	① (例) 家から遠い
図書館	2	1	3	2	1
市民会館	2	1	3	2	1
生涯学習プラザ	2	1	3	2	1
ふれあい工房	2	1	3	2	1
岩崎城	2	1	3	2	1
総合運動公園	2	1	3	2	1
スポーツセンター	2	1	3	2	1
上納池スポーツ公園	2	1	3	2	1

■出典：平成27年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

(問3-④の結果)



- ・総合運動公園の認知度は7割以上と高い結果であったが、利用頻度では6割以上の方が利用したことがないという結果であった。
- ・利用しない理由としては、「立地が悪い」が1番多く、「必要性を感じない、目的がない」が2番目に多かった。

■出典：平成27年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

総合運動公園や運動に関する自由意見を以下に示す。

【総合運動公園に関して】

- ・総合運動公園で、小学生を対象とした能力別のグループクラスがあると助かります。水を恐がらないきっかけづくりが出来ていいと思う。
- ・総合運動公園で行われたレクリエーションのイベントのような、子供から高齢者まで楽しめ、新しいものに触れられる場がもっとあるとよいと思う。

【運動に関して】

- ・フルタイムで働いていても参加できるような時間帯で、語学や運動系の講座がもっと開催されればいいと思います。
- ・子供の運動教室等、抽選が多く、はずれた時の子供のショックが大きいので、曜日・時間等をずらして、もっと多くの子供が当選できるようにしてほしい。
- ・日頃からスポーツセンター主催の運動教室に通わせていただいている。まだ、子供が小さく「子供連れOK」の講座が少ないのが残念です。

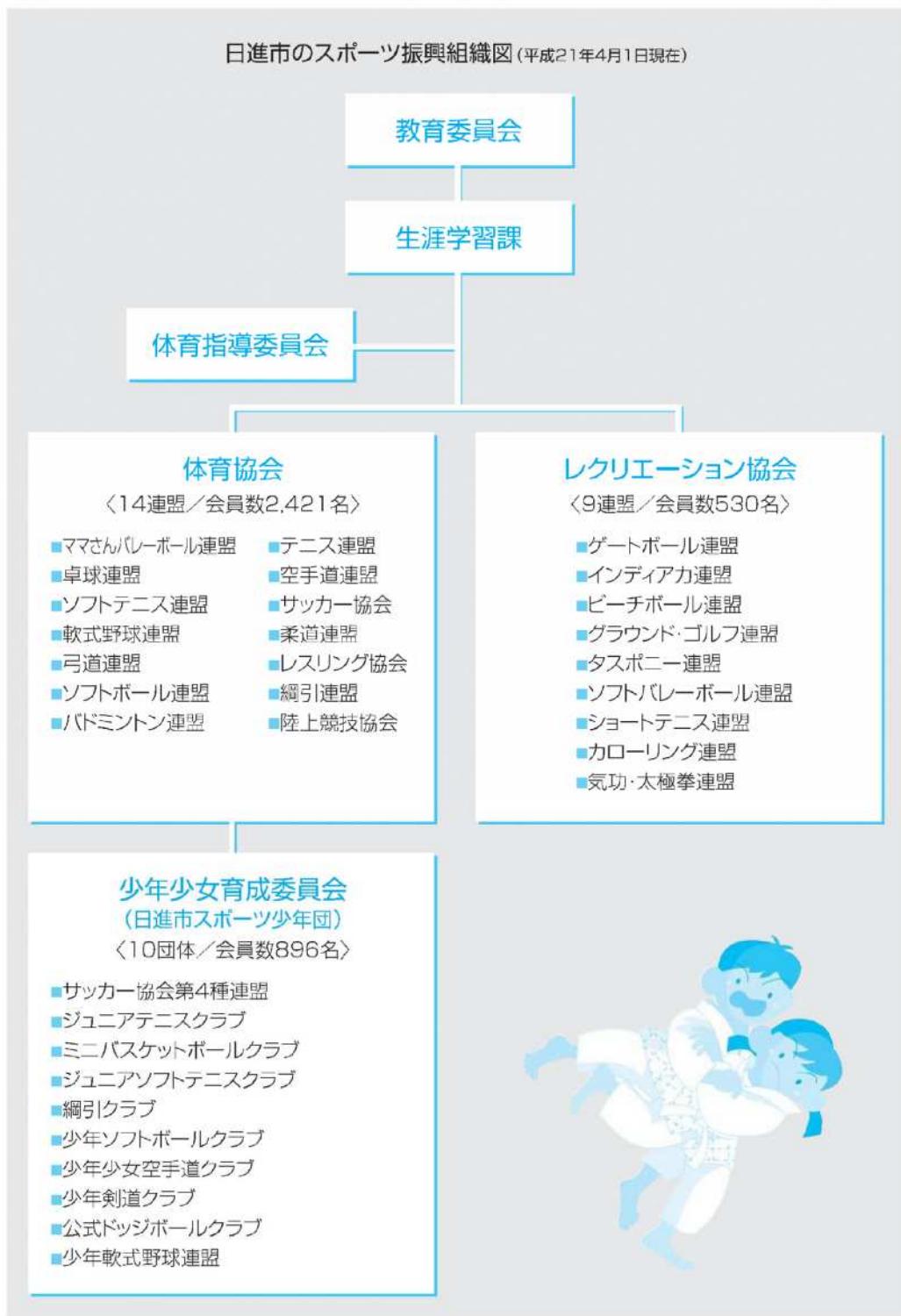
市には体育協会（14連盟）、少年少女育成委員会（10団体）及びレクリエーション協会（9連盟）があります。それぞれの団体が目的に応じた活動を行い、日進市のスポーツ振興の一翼を担っています。

■出典：平成27年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

1-1-5 日進市スポーツ振興基本計画（平成 22 年 3 月）

日進市のスポーツ振興組織図を以下にしめす。

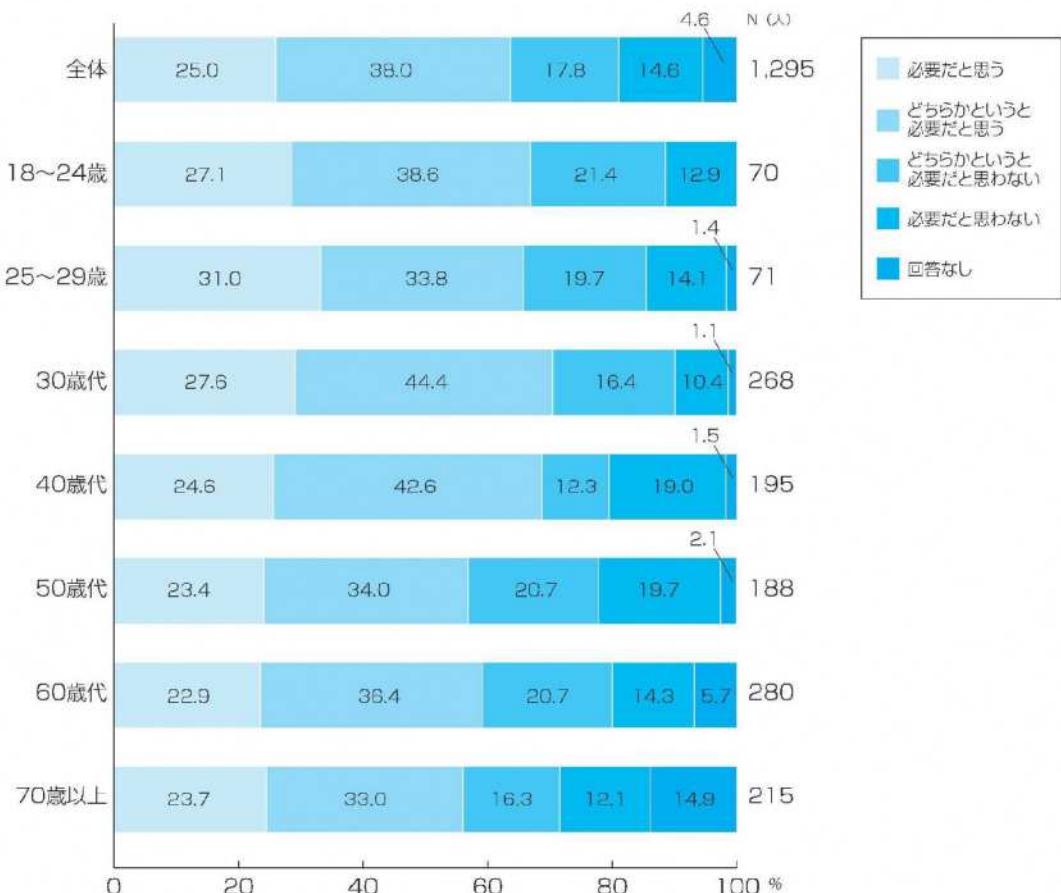
市には、体育協会（14 連盟）、少年少女育成委員会（10 団体）及びレクリエーション協会（9 連盟）が組織され、それぞれの目的に応じた活動を行い、日進市のスポーツ振興の一翼を担っている。



■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

(3) 総合型地域スポーツクラブの必要性

総合型地域スポーツクラブが必要であると回答した人は63%に上り、日進市に総合型地域スポーツクラブを設立してほしいと感じている人が半数を超えていました。



年齢別「総合型地域スポーツクラブの必要性」(日進市 平成20年度 市民意識調査より)

《総合型地域スポーツクラブとは?》

地域住民が主体的にスポーツ活動の環境を創造し、自主自立で運営するスポーツクラブで、誰もが主体的・継続的にスポーツに取り組め、子どもから高齢者まで様々な人が参加できるのも特徴です。従来の単一種目のスポーツを行うクラブとは異なり、複数の種目が楽しめ、それぞれが自分の趣向に合わせたプログラムに参加でき、地域住民の健康づくり、生きがいづくりを促進し、地域コミュニティの基盤となっていくことが期待されています。

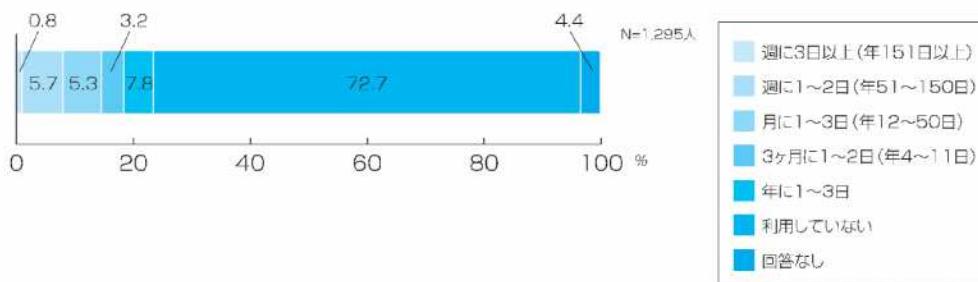
■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

日進市におけるスポーツ施設の現状を以下に示す。

3.日進市におけるスポーツ施設の現状

(1) 過去1年間に日進市の公共スポーツ施設を利用した頻度

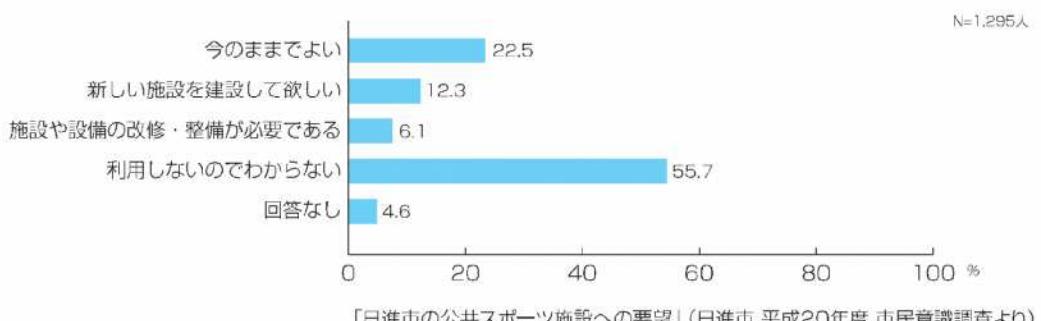
過去1年間に日進市の公共スポーツ施設を使用したことがある人は全体の22.8%と非常に少ない状況です。



「過去1年間に日進市の公共スポーツ施設を利用した頻度」(日進市 平成20年度 市民意識調査より)

(2) 日進市の公共スポーツ施設への要望

アンケートの結果から、「新しい施設を建設してほしい」と回答した人は12.3%、「施設や設備の改修・整備が必要である」と回答した人は6.1%でした。要望内容で多かったのはプール（屋内・屋外）で、施設整備だけでなく、運営面での改善要望も多く見られました。



「日進市の公共スポーツ施設への要望」(日進市 平成20年度 市民意識調査より)

(3) 学校体育施設開放事業の現状

地域スポーツ振興のため、また地域住民のスポーツ活動の場として小中学校の体育施設を利用登録団体に開放しています。

事業全体の現状は利用登録団体108団体（バレー・ボーラー（ソフトバレー・ボーラーを含む）：25、バスケットボール：17、サッカー：14、バドミントン10、ソフトボーラー：9、体操：7、軟式野球：5、卓球：4、インディアラカ：3、ドッジボーラー：2、少林寺拳法：2、空手：3、剣道：2、ビーチボーラー：3、綱引：1、和太鼓：1、平成21年9月現在）です。

利用率は小学校全体で運動場83.5%、体育館60.1%で、中学校全体で体育館81.3%、柔剣道場50%でした。

学校体育施設開放事業は学校行事、地域開放を優先していますので学校によって利用率に差が出ています。

■出典：平成27年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

平成20年度 日進市市民意識調査報告書(抜粋)

【自由記入】

(2) 新しい施設を建設してほしい

プール関係	スポーツセンターにプールがほしい。(7) 夜遅くまでやっているプール付きスポーツジム(2) プール付きスポーツジム 屋内プールがほしい。(29) 子どもも利用できる屋内プールがほしい。 赤池駅近くに屋内プールがほしい。 温水プールがほしい。(9) 50mの温水プールがほしい。 赤池駅近くに、老人が楽しめるような温水プールがほしい。 高齢者が使える温水プールがほしい。 スライダーや波のプール付きの温水プールがほしい。 プールがほしい。(24) アクアピクスができるプールがほしい。 家の近くにプールがほしい。 夜遅くまで利用できるプールがほしい。 東海市のしあわせ村のようなプールがほしい。 赤池駅、日進駅の近くにプールがほしい。 小さい施設でもよいので、高齢者が利用できるプールがほしい。 通年使用可能なプールがほしい。
その他	テニスコートがほしい。(7) オートテニス場がほしい。 屋内テニスコートがほしい。 ソフトテニスがほしい。 面数のかたまたたテニスコートがほしい。 サイクリングロードがほしい。(2) ウォーキングができる場所がほしい。(3) 気軽にジョギングやウォーキングできる室内コースがほしい。 体育館的なものがほしい。(2) 個人が気楽にバスケットやテニスができる施設がほしい。 アスレチックジムがほしい。(3) スポーツジムがほしい。(2) エアロビクスの施設がほしい。 男女別のジムがほしい。 加圧式トレーニングジム(インストラクター付き)がほしい。 ゴルフ場がほしい。 グラウンドを増やしてほしい。 屋内グランドがほしい。 全天候型の陸上競技場がほしい。 野球場がほしい。(2) サッカー場がほしい。 芝サッカー場がほしい。 フットサルコートがほしい。(3) 夜までやっているフットサルコートがほしい。

■出典：平成27年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

平成20年度 日進市市民意識調査報告書(抜粋)

その他	バスケットゴール(外)がほしい。 雨天でも遊べる施設がほしい。 ナイターができる施設がほしい。 BMXが練習できるコースや公園がほしい。 バッティングセンターがほしい。 ボウリング場がほしい。 自主的に幼児が運動できるルーム。マットや平均台、ポールなどあるとよい。 温泉施設がほしい。(3) ドッグランがほしい。 広い施設がほしい。 施設のとなりに散策できる公園がほしい。 小学生ソフトボールができる場所を増やしてほしい。 子どもが遊べる安全な施設がほしい。 子どもが使用できるサッカー場がほしい。 手摺り付きのUp, Down坂など、子どもから高齢者まで利用できるアスレチックがほしい。 団地内子ども用広場がほしい。 小さい子どもが集まれるところがほしい。
施設自体	東部に屋内スポーツ施設がほしい。 岩崎や竹の山など、新しいまちに施設がほしい。 米野木近辺に施設がほしい。 全体的に施設を増やしてほしい。
苦情・意見	日進市スポーツセンターの抽選に当るのが難しい。 テニスコート予約が取りにくい。 スポーツセンターの予約が取りにくいので、体育館的なものを増やしてほしい。 予約がとりにくいので、スポーツ施設を増やしてほしい。 駐車場を広げてほしい。 学区ごと(身近な所)スポーツ施設があるとよい。遠方に住んでいたら利用しない。 学校のグラウンドを開放してほしい。野球のグラウンドの数が少ない。 ジムの器具を増やしてほしい。 休館日を変更してほしい。 グラウンドの夜間照明をつけてほしい。 現在、常連の市民に占有されている。平等に使用できるようにシステムもあわせて検討してほしい。

■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

平成20年度 日進市市民意識調査報告書(抜粋)

【自由記入】

(3) 施設や設備の改修・設備が必要である

上納池体育館について	上納池体育館に冷暖房を設置してほしい。(9) 上納池体育館にフェンスをつけてほしい。 上納池スポーツセンターの体育館が狭い。 日進市スポーツセンター第2競技場くらいの観覧席がほしい。 スポーツセンターはメンテナンスが悪い。床は汚いし、ワックスも悪い。 スポーツセンターにプールがほしい。(3) スポーツセンターを改修してほしい。 スポーツセンターの第二競技場、小ホールの縦長窓をカーテンで覆ってほしい。(3)
テニスコートについて	テニスコートをオムニコートにかえてほしい。(2) テニスコートの整備をしてほしい。 テニスコート、R153の交通量が多くて、声が聞こえないので改善してほしい。 赤池にできたテニスコートをマレットゴルフに作り変えてほしい。 縁UP・DOWNを作り、歩く体力道場のようにしてほしい。 現テニスコートのサーフェスを変更してほしい。
他の施設について	体育館にランニングコースを作ってほしい。 トレーニングルームを広くしてほしい。 ジムをもっと使いやすくしてほしい。 総合グランドのサッカー場の改修をしてほしい。 学校開放をしてほしい。備品の不備が多い。 卓球台、バトミントンネットがあるとよい。
料金について	利用料をもう少し安くしてほしい。 ジム料金が、他地域と比較すると高い。 料金が高い。(2) 利用料を安く。(3) 利用料を安くする。他地域と比較すると高い。(4) 料金を安価もしくは無料にしてほしい。 プールの使用料を安くしてほしい。
管理について	体育館の換気をしてほしい。 トイレ整備をきちんとしてほしい。(3) 冷房が効いていない。(3) 空調が効きすぎて寒い。
設備について	総合グランドの排水が悪い。 グランドの手洗い場を整備してほしい。 手などの消毒ができるところがあると良い。 スリッパがない。 駐車場が狭い。 イベント時の駐車スペースとして専用場所を設けてほしい。 鏡面を増やしてほしい。 ナイター施設がほしい。 野球場をナイター可能にしてほしい。 ロッカーが整備されていないと利用する気にならない。 風呂、シャワーが整備されてないと利用する気にならない。

■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

平成20年度 日進市市民意識調査報告書(抜粋)

予約や支払方法・ 利用方法について	夜間も利用できるように、利用時間を延長してほしい。(4) 予約方法が面倒である。 施設の予約方法がわかりづらい。 予約方法の改善をしてほしい。 料金の支払い等が面倒である。 利用方法がわかりにくい。社会人が利用しやすいよう、インターネット等で24時間 申し込み可能にしてほしい。 予約制は行きづらい。 カリキュラムはいらないので、行きたい時に行って使えると便利である。 定期的に会場が借りられないのは不都合である。 体育館の予約が取りにくい。 テニスコートの予約が取りにくい。
PR・広報について	もっと市民にPRした方が良い。 スポーツ施設についてもっと詳しく説明してほしい。
その他	トレーナーを充実してほしい。 レク協、体協の優先は良くない。 混み過ぎである。 ヨガ教室が満員で受講できなかつた。 公園なのかスポーツ施設なのかハッキリしない施設は改修が必要。公園はあくまで 公園とする。 デザインに凝らないシンプルな施設にしてほしい。 利用率がどの程度がわからないが、過剰な整備回収は自粛すべきである。

■出典：平成 27 年度「日進市総合運動公園再生整備調査業務」報告書より抜粋

また、以下のような施策にも表れているように、日進市は元気な高齢者が多く、高齢者にも対応したレクリエーションの場が求められている。

(4) 高齢者・障害者のスポーツ活動の充実



レクリエーション協会委託ゲートボール教室

平均寿命が全国で14位、愛知県では男女とも1位（平成17年度調査）という元気な高齢者が多い日進市。高齢者が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる機会を作ることはこれからの中高齢社会を充実させる上で欠くことができません。指定管理者と連携し、高齢者を対象とした教室やイベントの開催を拡充していきます。障害がある方にとって、スポーツは心身の健康増進や社会参加への架け橋ともなります。障害者も参加することができる教室やイベントを開催すると共に、障害者と健常者との交流を推進してきます。なお、高齢者や障害者にとって、広義のスポーツに該当する、散歩・ウォーキングなどの軽運動が手軽で負荷も少なく、最適なスポーツといえます。

(5) 総合型地域スポーツクラブの創設

文部科学省のスポーツ振興基本計画において、総合型地域スポーツクラブの育成が推進されています。日進市で、アンケート結果から63%の人が市に総合型地域スポーツクラブの必要性を認めています。しかし、一方で「総合的」に「地域に根ざした」スポーツの在り方も考えなければなりません。青少年の健全育成、地域教育力の回復、世代間の交流、施設の有効活用、高齢者の生きがい作りなどの効果が期待されている総合型地域スポーツクラブの創設に向けて、検討を進めていきます。検討内容としてはスポーツ指導者の育成やクラブマネージャーの育成・支援、愛知県広域スポーツセンター事業との連携、クラブハウスの確保、活動場所の確保、既存団体との連携、啓発活動などが挙げられます。日進市では平成23年度設立を目指して検討しています。

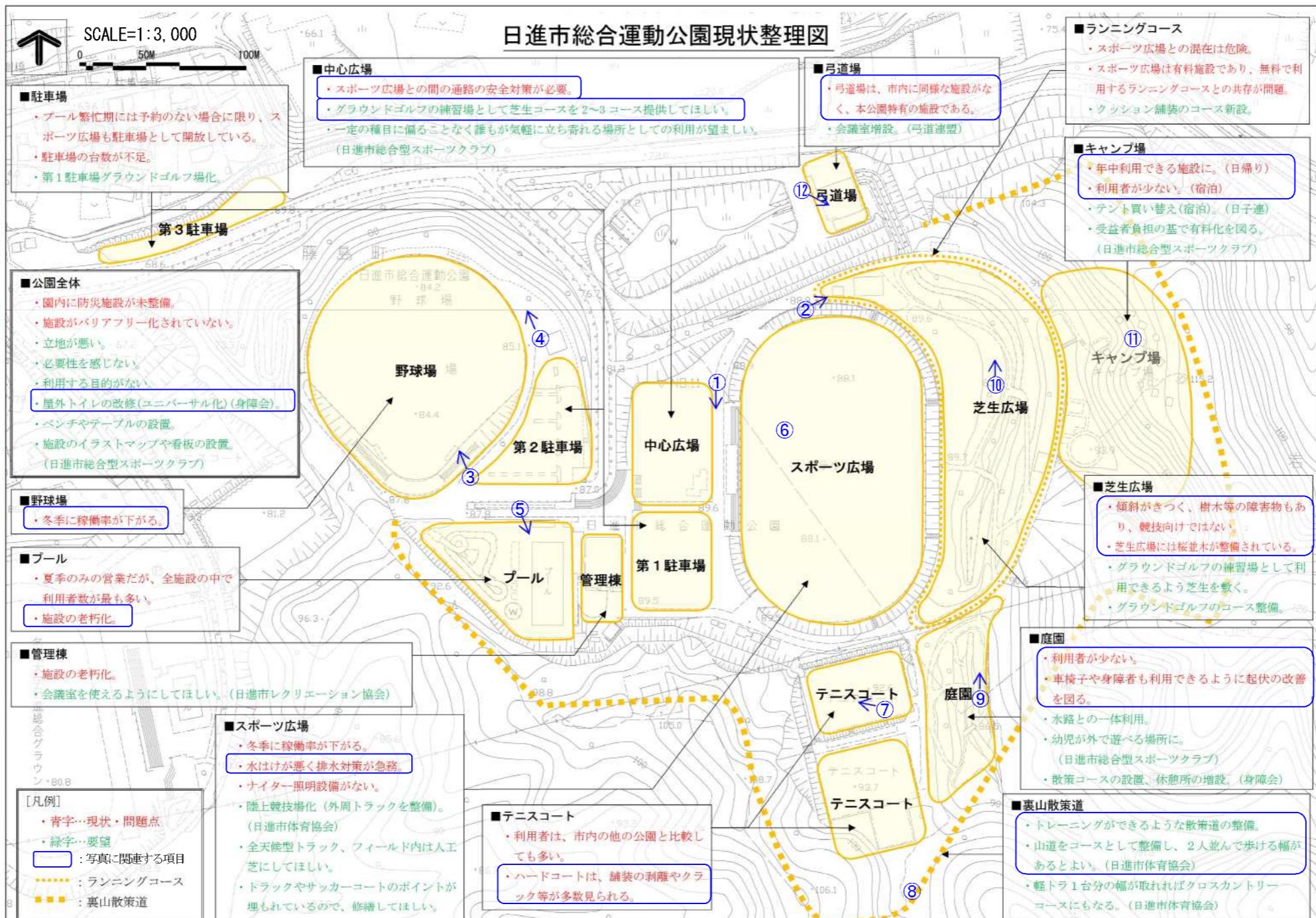
(6) スポーツ普及にむけての啓発活動

だれでも、いつでも気軽にスポーツに親しめるように、どこにどのような施設があるのか、どのようなクラブ・サークルがあるのか、どのような教室・イベントが開催されているのかなど、一目で分かるスポーツガイドブックを作成し、公共施設に配布します。また、どのような団体がどのような活動をしているか分かるような広報誌を作成し、市民のスポーツ活動を啓発していきます。

1-2 現状把握及び問題点の整理

公園再生計画の策定にあたり、本公園の現状及び問題点を以下の図にまとめた。

(①⇒: おおよその写真撮影地点及び方向を示す。)



1-3 関係機関へのヒアリング結果の整理

日進市総合運動公園の再生整備にあたり、昨年度日進市が以下の関係機関へヒアリングを実施した。ヒアリング結果を次頁に一覧表として示す。

- ・障害者団体（身障会）（平成 28 年 1 月 16 日）
- ・日進市体育協会（平成 28 年 1 月 19 日）
- ・日進市レクリエーション協会（平成 28 年 1 月 20 日）
- ・日進市総合型スポーツクラブ（平成 28 年 2 月 12 日）

1-3-1 ヒアリング結果

団体名	要望・ヒアリング内容
障害者団体 (身障会)	<p>【結果】 スポーツ広場の排水対策および総合運動公園全体のバリアフリー化を望む声があがつた。</p> <p>【議事要旨抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場の水はけをなんとかして欲しい。 ・外にもユニバーサルトイレを設置して欲しい。
日進市体育協会	<p>【結果】 陸上競技場を整備して欲しいという要望があがつた。また、それとは別にジョギングコースの整備を望んでいる。なお、体育協会でもスポーツ広場の排水対策に対する意見が寄せられた。</p> <p>【議事要旨抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギングコースはウレタン舗装か、土などのやわらかい地面に越したことはない。 ・陸上競技場とは別に、ジョギングコースは競技者も一般の方も使って良いと思う。 ・スポーツ広場の排水の改善は、10 年に 1 度はやるなど、維持管理費として常に見込んでおくべきものである。 ・林の山道をもう少しコースとして整備できればいい。
日進市 レクリエーション 協会	<p>【結果】 ゲートボール連盟・グラウンドゴルフ連盟ともにスポーツ広場の排水対策を望んでいる。また、グラウンドゴルフ連盟からは芝生の練習場所を設置して欲しいという要望が挙げられた。</p> <p>【議事要旨抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唯一の要望は多目的広場の水はけ改善である。 ・降雨後の水はけ改善と、グラウンドのならし整備をお願いしたい。 ・芝はボールの抵抗が大きく、土とは感覚が異なることから芝の練習場所もぜひ作って欲しい。 ・中心広場は、特定の種目に偏ることなく、誰もが気軽に立ち寄れる場であって欲しい。
日進市 総合型 スポーツクラブ	<p>【結果】 スポーツ広場の排水対策のほか、公園機能を充実させて欲しいという意見が寄せられた。また、キャンプ場の利用率向上についても意見があがつた。</p> <p>【議事要旨抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場の水はけを改善して欲しい。 ・競技種目だけでなく、誰でも気軽に来られる場として、公園機能を充実して欲しい。 ・庭園は、水を流して子どもが水遊びできる場にしてはどうか。 ・キャンプ場の充実、利用率の向上策を検討すべきである。
その他自由意見	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場の水はけ対策をして欲しい。 ・ウォーク、ジョギングコースを作ってはどうか。 ・キャンプ場で気軽にBBQができるスペースがあるとよい。